

死線を越えて

昭和二十一年八月十日、日本軍に取らる最悪の事、突然避難
命令が下り一時、三軍余り山奥の六洞と、ふ新落へ二十三家族總執百
名余り、備は残り、午後一時迄、死に幼子は之氣に遠足気か、歩いた、其
れた、其の夜より、清津羅津、雄基、而すの避難列車は、滞員で、厚根
の上、機関車の上まで、鈴成りの情況、又走歩で来る人は、續々と来て、宿舎にも
相当な人で、野菜、米など、を給へた。

生の南瓜をやり、寝れな、姿で、疲れ果た、カチカチを引つ、崩れる、柵に、軒下に
坐り込んで、居る人々を見て、幾日かの夜に、同日、軍命にあるも、知らず、同情し、暖
い言葉をおきて、一泊の宿をしてやると、

早して、前日は、船運にも、同日、軍命が、襲つて、来た。

六洞に着き、一夜を、堅宿で、明し、翌日は、雨に、降られ、半島人に、二夜の宿を、求め

雨を、凌ぎ、た、や、一晩中、た、ち、連した、翌十七日に、連絡員の、傳へ、列車で、白岩に行

六洞を、收に、吾家、に、帰る、目、見、入、口、は、破、壊、され、目、見、し、食、糧、は、なく、食

具類は、殆ど、破、壊、され、余りの、又、に、母、は、帰、ら、ぬ、ち、を、操、返、て、居、た、

六洞を、收に、吾家、に、帰る、目、見、入、口、は、破、壊、され、目、見、し、食、糧、は、なく、食
具類は、殆ど、破、壊、され、余りの、又、に、母、は、帰、ら、ぬ、ち、を、操、返、て、居、た、

此意山鎮より六〇キロ余り米女一平安南道に在る力や安全と云ふ事は一決し
六洞を収に吾家へ歸る見れば入口は破壊され目星も思食糧はなく
具類は殆ど破壊され余りも又にもは歸らぬやちを採返して居た
列車に乗込む仕度して居ると適機や二機来た防空壕へ逃げた凄
い音
卿者と地鳴りに命や奪つたと思つた

そして大日無蓋車で白岩につた
そこで漸く梅子と見る事にして鐵道寮に入れて貰ふことにも何處やら共
なく幾萬人といふ人や集つて大変な騷ぎであつた

白岩で二三と連に逢ふ事や出来た二十日すうと停戦になつた又を知らさ
川た
や唯水も本当にしない其の内はソ軍進駐となり始めて本当だと判り
たりし
て言葉と發する者は居なかつた

ソ軍に時計現金を掠奪され分散してモンペ着物に縫い入れたりした
ぐずぐずして居られず城津へ行かうと列車へだが南夕迄より先は危
ふなく
てここで降りられる仕方なく歩るく事になつた

荷物やあつて歩けないので賣つたり捨てたりし堅固用具と食糧と子供の
着更なげで精一杯重の荷物にうしろへ引度される程になり手はしびれて
何にもわがらない其の上に克子をのせて歩く多美子も歩かなくなる
怒り好したりして歩かせ

猶者と地喰りに命を奪はれしと思つた

そして大日無量蓋車で白岩につつた

そこで漸く梅子と見る事にして鐵道寮に入れて貰ふこゝにも何處やら共

なく幾萬人といふ人や集つて大變な騷ぎであつた

白岩で二三と連に逢ふ事か出来た二十日すぎに停載になつた又を知らされた

か唯水も本學にしない其の内にソ軍進駐となり始めて本學だと判り加はりし

て言葉と發する者は殆どなかつた

ソ軍に時計現金を掠奪され分散してモンペ着物に縫い入れたりした

ぐずぐずして居られず一城へ行かうと列車へたか南夕迄より先は危ふなく

てこゝで降りされる仕方なく歩く事になつた

荷物やあつて歩けないので賣つたり捨てたりし堅固用具と食糧と子供の

着更なげで精一杯重の荷物にうしろへ引戻される物になり手はしびれて

何にもわがらない其の上に克子をのせて歩く多美子も歩かなくなる

怒つたり好したりして歩かせる

母はくより先へくと歩くに足かおろいので迷惑をわけてはならぬといふ時

も休む時もある歩いてゐたあの姿が忘れられぬ何んの為かこの年寄やこんな勞をした

くではならぬといふのと国を恨んだ戦争犠牲者も怒つたやどうするも出来ぬ

子供の多い珍貨組は一日三里歩くのかやつと隠塚に入る手前雨に降られ

てトネルの中で一夜をしのぐ雨の降る中を隠塚へ向ふ

トネルの中を一晩をしのぐ雨の降る中を隠塚へ向ふ

くはなはらな... 恨んだ... 戦争... 債仕者... 知った... や... する... 出る... 来た...

子供の多い珍貨組は一日二里歩くのかやつと... 院塚へ向つた... 院塚に入る手前...

てトシネルの中で一夜を... 雨の降る中を... 院塚へ向つた... 荷物を降した所へ...

四五名に見つけられ... 院塚の許して... 此の院に入つた... 言ふて男全部に...

地はしなかつた... 許して下... 惜し涙に... 頼んで目を... 冷笑を...

逆になつて行かれた... 私達は不安... 心配でウロウロ... してゐる...

人にこんな情ない... 仕打を受け... 口惜しくて... 噛みきた... 自分一人...

二時間程して帰つて来る... のが見える... あ... 安心する... 聞けば...

六角棒で力一杯叩... 水をそう... 指も肉は破れ... 腫れ上り...

さ... 一晩中... 冷した朝早く... 出発する... 其の日に... 鶴中に...

検査... 現金... 品物... 取上げられ... 増々不自由... になる...